

医療保険経済を問う

平成15年10月号 No. 627 歯界月報 春秋掲載

兵庫県歯科医師会理事

中 尾 薫

今夏は誠にヘンテコな季節だったように思う。予報に反し、当初は冷夏であったが、9月に入り記録的な残暑が続いた。大自然とはかくも物凄さを秘めた、人智の及ばないところがある。東北地方は冷夏であり、稲作指数は極めて悪い。江戸時代なら確実に飢饉が起っていたであろう。しかるに、現代は、科学・産業・流通・国策により、恐らく国民が飢えることはないだろう。国策とはこの食料供給に象徴された、国民のための施策である。

かたや、医療に対しての国策とは何であろう？ まず、国策のプライオリティーとして、医療の位置づけがなされているのか、甚だ疑問に感じられる。国防・農水産に続き、医療・教育が優先順序ではなかろうか。医療は利益を追求してはならないこととされてきた。今回いとも簡単に「医療経済特区」というものが導入され、一部ではあるが、医療の株式会社化が認められるに至った。これでは、現状の「医療機関療養担当規則」遵守の内容に、大きな矛盾が生じることとなる。「医は仁術」と教育され、その通りに受け止めているわれわれは、この改変をどのように受け止めれば良いのだろうか。

市場原理主義をそのまま医療の世界に導入すること自体が根本的に間違っているのか、あるいは、現今医療保険制度を抜本的に改変するのが良いのか議論が欲しい。医療保険財源が近い将来パンクしそうだから、皆な我慢して、受診を控えましょうと指導していると思われても仕方がないような行政のあり方が垣間見られる。

ドラスティックな変化が今の医療体制には求められているのかもしれない。痛みを伴うことを強調されるが、いっそのこと組合保険も国保組合も統合させるような大胆な仕組みの提示がどうしてなされないのだろうか。国政とは摩訶不思議な組織だ。官が民を主導する限り、国民の声は決して届かない。国民間に医療経済の誤解がありそうだ。

医療は、決して経済とイコールであってはならないと私は思う。国民も、経済優先型医療を否定している。歯科医療人がいなくなって、国民の困らない筈がない。日露戦争時の総参謀長 児玉源太郎大將は「軍医部に、なぜ歯科医が加えられていないのか。」と言った

そうであるが、今のお国の偉い方々は、歯が痛くはならないのだろうか。

療担規則の末尾に「各地方特性を生かし、都道府県独自の医療保険上の解釈が生じた場合には、柔軟適切に若干の裁量権を当該知事が持ちうるものとする。」と、謳って頂だけでよいのである。地方自治への権限委譲を大きな基本施策として掲げる現内閣である以上、せめてひとつぐらいは、われわれに「純ちゃん、有難う！」と言わせるようなことをしてくれてもよいのではないだろうか。

嘱託警察犬を飼育する

警察犬には県警が飼育管理している直轄警察犬と、民間人が飼育管理、訓練している嘱託警察犬があります。今回は嘱託警察犬を育てておられる、姫路市歯科医師会の塩見 聡先生と、東灘区歯科医師会の中尾 薫先生にご登場いただきます。

しおみ さとし
姫路市歯科医師会・塩見 聡先生

なかお かおる
東灘区歯科医師会・中尾 薫先生

嘱託警察犬とは

――まず、警察犬について簡単をお願いします。

塩見 警察犬には、警視庁を除く道府県警察が飼育管理している直轄警察犬と、民間人が飼育管理、訓練している嘱託警察犬があります。嘱託犬は県警が毎年審査会を行い、嘱託する警察犬を指定します。これは直轄犬には頭数に限りがあり、地域的な条件で早急な捜査ができない場合に嘱託犬を起用する制度です。兵庫県では毎年20頭弱が指定され1年毎の更新となります。この嘱託犬の指定を受けるために、われわれは愛犬を訓練し、いろいろな大会に出場しています。大会は2種類に大別さ

れ、作業能力を競う訓練競技会と、使役犬としての理想的な体型を追求する審査会系統があります。

訓練系統と審査会系統

――この二つの大会についてももう少し詳しくお願いします。

塩見 訓練競技会系統は、警察犬にも競走馬のサラブレッドのように優秀な血統があり、警察犬の日本チャンピオンや作業能力の極めて高い血統の子犬を購入、訓練し、優秀な警察犬に飼育します。私が飼育している犬（犬種：シェパード、メス、名前：フィリー・フォン・ミナトツネイシ、愛称フィリー）はこちらの種類になります。

中尾 審査会系統、展覧会系統とも言われますが、警察犬の犬種の理想的な体型を追求するもので、言わば警察犬の美人コンテストのようなものです。しかし、審査会を通して優秀な個体を守り、増やしていくことは非常に重要なことで、もちろん警察犬としての性能も高くないといけませんので、訓練は欠かせません。わが家の愛犬（犬種：ゴールデンレトリバー、オス、名前：アラン・オブ・デントマキヒロアース、愛称：ウィル）はこちらになります。しかし、作業能力はやはり塩見先生の愛犬には少し劣るかなあ（笑）。

塩見 訓練系の犬を押さえ、狭き門の県警嘱託犬に選ばれたんですから立派なものですよ。

競技会の競技内容は

—— 警察犬はどのような競技種目があるんでしょうか

塩見 足跡追求競技、臭気選別競技と、警戒競技があります。足跡追求は逃走犯人を想定して、犯人役が歩いたコースをその匂いを頼りに所定時間内に追求させて競う競技です。臭気選別は犯人の物と思われる遺留品を想定しその匂いをもとに犯人の物かどうかを犬に判断させ、その正解率を競います。警戒競技は文字通り仮想犯人を咬捕(逮捕)、護送の一連の流れを競うものです。

中尾 塩見先生のフィリーは足跡追求部門で現在、私のウィルは臭気選別部門で平成15年に嘱託警察犬になりました。

警察犬飼育のプロとアマ

—— 警察犬飼育はいつから、また、育て方をお教えてください。

塩見 大学卒、勤務医を終え、地元の姫路に帰ってきてからですから25年ほどになります。性能の高い犬の血統は把握していますので、これはという子犬を購入し、生後7~8ヶ月飼育します。この間にその犬の性能を見極め、よい犬はそのまま飼

いますが、悪い犬はどなたかにお譲りして次の犬を探します。訓練は私ももちろんしますが、専門の訓練施設に預けます。秋に長野県の霧が峰で警察犬競技会の全国大会が終わりましたので今は家にいますが、春から秋までは広島県の優秀な訓練施設に預けています。

中尾 私は警察犬と関わって15年になります。縁があって6年前に姫路市歯科医師会の坂口先生から譲っていただいたウィルを現在飼育しています。ウィルとの接し方は一般の愛犬家と変わらず、家族の一員として接しています。訓練も塩見先生とは違い、自宅から訓練所に通いで訓練させています。僕には塩見先生のように飼いはじめてから途中で譲りしたり、訓練のために半年近くもウィルと離れことはできないなあ。塩見先生が警察犬飼育のプロなら、僕はアマチュアですからね(笑)。

塩見 家内からは「あなたは愛犬家ではない」とよく言われます(笑)。平成4年に全国大会で訓練チャンピオンをいただきましたが、日本一を意識すると、このような飼い方になります。全国には私のような飼い方をしているかたも多いんですよ。情報交換もよくしますが、長距離電話でどうしても長話になってしまうので電話代が高くて

困っています（笑）。

今後の夢は

―― 今後の夢をお聞かせください。

塩見 もう一度全国制覇ですかね。それと、警察犬登録には犬舎号も登録します。これは人間でいうと苗字で、私の犬舎で生まれた犬は私の犬舎号“エンドドンティックサージェリー”という名前になります。最終的にはこの名前が全国の競技会を席卷し、日本一の血統にすることです。

中尾 私は犬舎号を登録し、（まだ交配はさせていませんが、現在計画中です）かわいいウィルの血統を守っていきたいと思っています。口幅ったい言い回しで恐縮ですが、警察犬飼育により、密かに、ささやかに世の中の下支えを今後とも継続していきたいと考えております。

注 塩見 聰先生は歯界月報誌2000年12月号24・25ページにも掲載されています。お持ちのかたはそちらもご参照ください。